

本品は無菌的に調製されています。そのままの状態で使用できますが、平板培地の表面が凝固水で湿っている場合は乾燥させてから使用してください。平板培地に希釈後の検体を0.1ml～0.5ml滴下してコンラージ棒ですばやく延ばすように塗抹してください。

培地種類	培養温度／時間	判定方法
標準寒天培地 SCDLP寒天培地	35℃ 48±3時間	本培地は生菌数の測定に使用される。培地上に発育したコロニーをカウントする。
デソキシコレート寒天培地	35℃ 18～24時間	本培地は大腸菌群の検査に使用される。大腸菌群は赤色のコロニーを形成し、周辺の培地は淡桃色かレンガ色の沈殿を生ずる。
CP加ポテトデキストロース寒天培地 サブロー寒天培地	25℃ 2～7日間	本培地は酵母、カビ類の分離培養に使用される。培地上に発育した真菌は、その形態を観察するのに適している。
マデック寒天培地	35℃ 18～24時間	本培地はサルモネラの分離培養に使用される。サルモネラは硫化水素を産生して黒色のコロニーを形成する。サルモネラ以外の菌の発育は強く抑制される。
TCBS寒天培地	37℃ 24～48時間	本培地は腸炎ビブリオ・コレラ菌の分離培養に使用される。腸炎ビブリオのような白糖非分解菌は中心部が青緑色のコロニーを形成する。コレラ菌や <i>V.alginolyticus</i> のような白糖分解菌は混濁した黄色のコロニーを形成する。
卵黄加マンニット食塩寒天培地	35℃ 24～48時間	本培地は黄色ブドウ球菌の分離培養に使用される。黄色ブドウ球菌は黄色のコロニーを形成し、周辺部を黄変し、卵黄反応による混濁帯と真珠様光沢を示す。白色あるいは赤色のコロニー(マンニット非分解)、卵黄反応陰性集落は黄色ブドウ球菌ではない。
EZ2C寒天培地	35℃ 24時間	本培地は大腸菌群および大腸菌( <i>E.coli</i> )の同時検出培養に使用される。大腸菌群はサーモンピンクないし赤色のコロニーを形成する。大腸菌( <i>E.coli</i> )は濃青色ないし紫色のコロニーを形成する。容易に区別ができる。
卵黄加NGKG寒天培地	35℃ 18～24時間	本培地は食品中のセレウス( <i>B.cereus</i> )を、選択分離検出するのに使用される。セレウス菌は周縁が不規則な白色で光沢のないコロニーを形成して、レシチナーゼの作用による混濁したピンク色のハローを伴う卵黄反応が認められる。セレウス菌以外の菌は強く抑制される。

貯蔵方法：4℃～8℃で貯蔵してください。冷凍しないでください。有効期限：製品により異なる(外箱にロットNO,とEXPを記載)使用済みの培地は高圧蒸気滅菌等により滅菌し、すみやかに廃棄して下さい。